

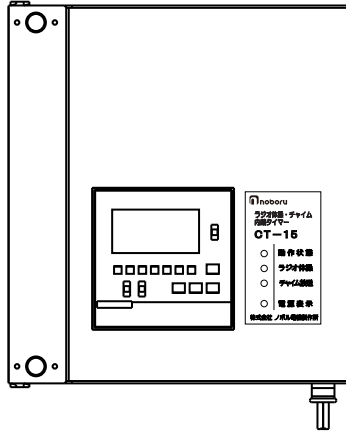


取扱説明書

ラジオ体操・チャイム
内蔵タイマー

このたびは、ノボルのラジオ体操・チャイム内蔵タイマーCT-15をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。（保証書付）

CT-15



■特長

- デジタルウィークリータイマーを内蔵しています。（内蔵のタイマーにより1週間単位で始業、終業時のチャイム放送、ラジオ体操放送ができます。）
- デジタルウィークリータイマーの機能として時刻合せ入力が付いています。
- 接続端子にスクリューレス端子を使用していますので配線の接続工事が簡単です。
- 場所をとらない壁掛け型です。
- ラジオ体操第一や各種チャイム音を内蔵しています。
（収録曲から2曲選択可能）
音源提供：NHKサービスセンター
販売元：ノボル電機製作所




T-1150073











■目次

特長	1
安全上のご注意	2～4
設置、使用上の注意	4
各部の名称と説明	5
タイムスイッチ部の名称	5
取付方法	6
接続のしかた	6
時刻合せ入力の接続のしかた	7
使用方法	8
①ダストカバーのはずし方、付け方	8
②チャイム放送のしかた	8、9
③ラジオ体操放送のしかた	10、11
④プログラムの確認及び修正のしかた	12
任意の曜日のプログラムの確認 登録したプログラムの内容の確認及び修正	
⑤プログラムの消去のしかた	12
登録したプログラムを部分的に消去する 登録したプログラムを回路単位で全て消去する	
⑥その他の使用方法	13
12/24h表示の切替 時刻、曜日を修正する 一時的に休日(非動作日)を設定する チャイムのテスト放送のしかた ラジオ体操のテスト放送のしかた	
故障かな?	14
主な仕様	14
放送時間記録用紙	15
保証書	16

■安全上のご注意

この安全上のご注意および製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。</p>
 注意	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p>
			<p>この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。●の中や近くに具体的な強制や指示内容が描かれています。</p>

 警告	
<p>表示された電源電圧 (AC100V) 以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流電源には接続しないでください。火災の原因となります。</p>	 禁止
<p>端子カバーを外して端子の接続をする時やヒューズを交換する時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業してください。感電の原因になります。</p>	 電源プラグを抜く
<p>使用中は端子カバーを取り付けて、端子に触れないようにしてください。感電の原因となります。</p>	 接触禁止
<p>この機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。この機器のキャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、整備、修理は販売店に依頼してください。</p>	 分解禁止
<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。</p>	 電源プラグを抜く
<p>万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>	 電源プラグを抜く
<p>万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>	 電源プラグを抜く
<p>万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。</p>	 電源プラグを抜く
<p>この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものを差込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。特に小さいお子様にはご注意ください。</p>	 禁止

⚠ 警告

この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

- ・この機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- ・この機器を押し入れ、専用ラック以外の本棚などの風通しの悪い、狭いところに押し込む。テーブルクロスをかけたり、絨毯、布団の上において使用する。



禁止

この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードが傷ついて、火災、感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず重いものをのせてしまう事がありますので避けてください。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災、感電の原因となります。



禁止

電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



警告

この機器の設置は、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。発熱により高温となり、火災、やけどの原因となります。



強制

風呂場などの水場では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



水場禁止

⚠ 注意

電源を入れる前に、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



注意

ヒーターの熱風や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に取り付けしないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁止

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

湿気や、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所におかないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

この機器の上ののったり、ぶらさがったり、ものをのせたりしないでください。落下したり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

⚠ 注意

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。感電の原因となることがあります。



年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や感電の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



注 意

旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



本機を他の機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源プラグをコンセントから抜いてから、説明に従って接続してください。また、接続には指定のコード以外使用しないでください。火災、感電、けがの原因となることがあります。



禁 止

移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、外部機器との接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く時は、コードを引っ張らずに必ず電源プラグをもって抜いてください。コードを引っ張りますと、傷が付き、火災、感電の原因となることがあります。



禁 止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。



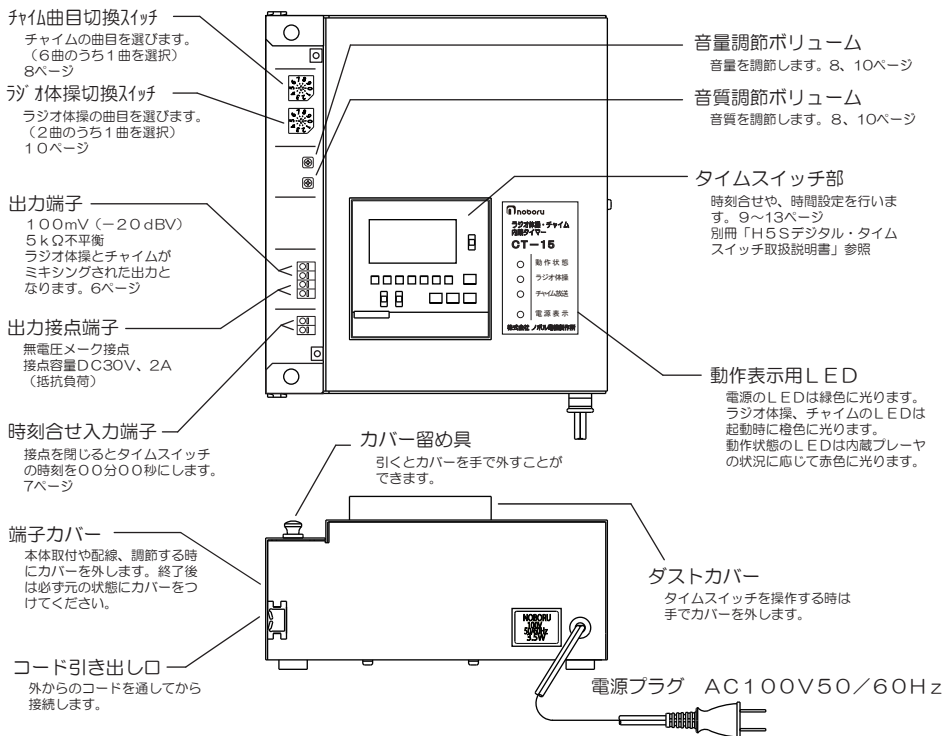
禁 止

■ 設置、使用上の注意

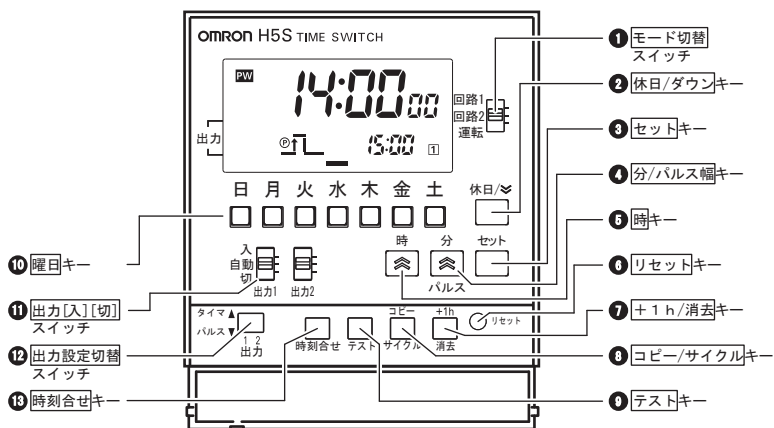
- ・本機は拡声放送専用のタイマーです。他の用途には使用しないでください。
- ・電氣的雑音の多い場所でご使用になる場合は、雑音発生源や雑音ののった強電線から入力、出力信号線及び本機をできるだけ離してください。
- ・次のような使い方はしないでください。

<p>50°C以上</p> <p>直射日光のさし込み場所や50°Cを超える温度の高い場所。</p>	<p>ほこりの多い場所や腐食性のガス発生場所。</p>	<p>振動、衝撃の大きい場所。</p>
<p>-10°C以下</p> <p>周囲温度が-10°C以下の場所。</p>	<p>水、油のかかる場所や湿度の高くなる場所。</p>	<p>内部回路の改造。</p>

■各部の名称と説明



■タイムスイッチ部の名称

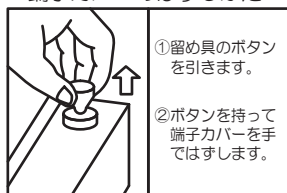


カバーを開けた状態です

■ 取付方法

1. 壁に縦20cm、横18cm程度のスペースを用意してください。
2. 正面左の端子カバーを手ではずしてください。
(配線又は調節後は必ずカバーを元の状態に取り付けてください。)

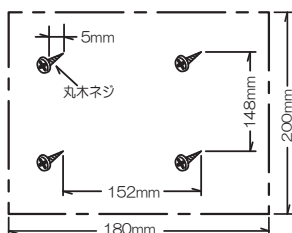
端子カバーのはずしかた



端子カバーの取り付けかた

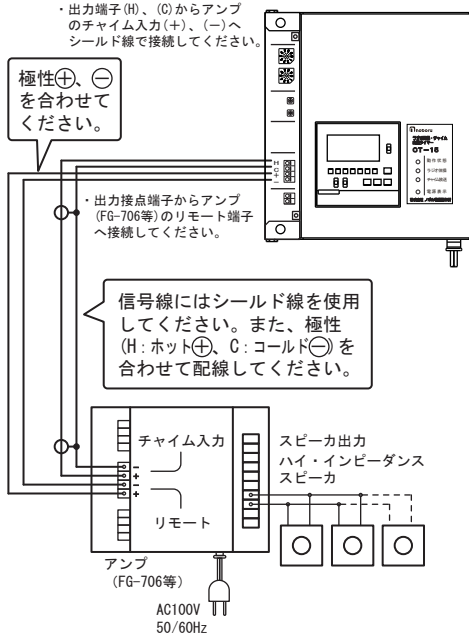


3. 壁に付属の丸木ネジ(3.8×16)を首下長さ5mm位までねじ込んでください。
4. 本機を丸木ネジに引っ掛けて下さい。



■ 接続のしかた

- ・出力端子(H)、(C)からアンプのチャイム入力(+), (-)へシールド線で接続してください。



出力接点及び出力端子(スクリューレス)
シールド線で配線してください。極性を合わせてください。

アンプチャイム入力端子へ
ホット: H (芯線) ⊕
コールド: C (外径線) ⊖
アンプリモート端子へ

H ⊕ 出力
C ⊖ 出力
⊕ 出力接点
⊖ 出力接点

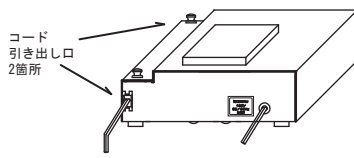
適合工具
マイナスドライバー
軸径φ3mm、刃先幅2.6mm

適合電線
単線AWG26~18
撚線AWG22~20

警告 出力接点にAC100Vを直接接続しないでください。

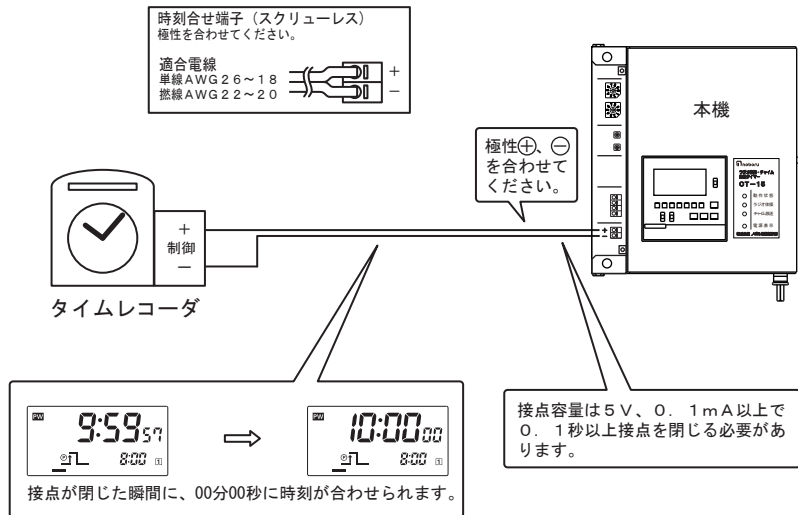
コードの引出しかた

ケースの外へコードを引出す場合は必ずコード引き出し口から行ってください。




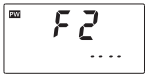
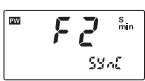





■時刻合せ入力の接続のしかた

接点出力可能なタイムレコーダ等と接続してCT-15のタイムスイッチの時刻を同期させることができます。



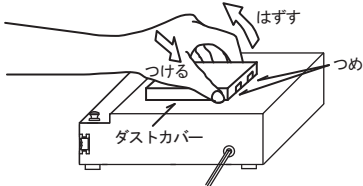
注意：製品出荷時は時刻合せ入力を使用できるように設定を行っていますが、タイムスイッチを「リセット」キーにより初期化すると再度設定しなおす必要があります。そのような場合は下記の手順で再設定してください。

モード切替 回路1  回路2  運転 	1. モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にしてから、「時刻合せ」キーを3秒以上押してください。
	2. 表示が切り替わったら、「時刻合せ」キーを押して「F2」を表示させる。
	3. 「時」または「分/パルス幅」キーを押して左図の表示にしてから、「セット」キーを押してください。
モード切替 回路1  回路2  運転 	4. モード切替スイッチを「運転」にしてください。




■使用方法

電源プラグをコンセントに差し込むと電源表示用LED（電源）が緑色に点灯し待機中であることを表示します。

①ダストカバーのはずしかた、付けかた














	<p>タイムスイッチ部を操作するときは手でダストカバーをはずしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図の部分を手で強くつかみながら上に持ち上げてはずしてください。 2. 付けるときは元の位置にかぶせて、手で押えたと留まります。
---	---

②チャイム放送のしかた



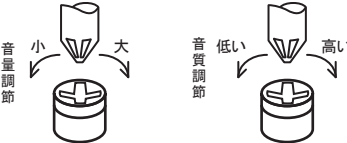

<h4>1. 曲目の選択、調節及び確認</h4>	
<p>チャイム曲目切換スイッチ</p>  <p>③ウエストミンスターA ⑥ホイットینگトンA ④ウエストミンスターB ⑦ホイットینگトンB ⑤ウエストミンスターC ⑧ホイットینگトンC</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 曲目切換スイッチを操作して下記いずれかの曲を選んでください。 ③④⑤ウエストミンスター ⑥⑦⑧ホイットینگトン <p>工場出荷時は④ウエストミンスターBになっています。</p>
<p>出力 [入] [切]</p> <p>チャイムを手動で鳴らす。自動切</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 2. 出力 [入] [切] スイッチの出力1を [入] にしてください。チャイムが繰り返し鳴動します。
<p>ご注意</p> <p>ボリュームを強い力で回わずと壊れることがあります。ドライバで軽く回すようにしてください。（最大回転角度210°）</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 音量は音量調節ボリュームで調節してください。 4. 音質は音質調節ボリュームで調節してください。 <p>※音量調節、音質調節はチャイム、ラジオ体操共通になっていますので個別に調節は出来ません。</p> <p>出荷時はツマミの回転位置をほぼ中央に合わせてあります。</p>

9ページへ続く



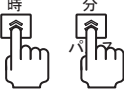




(8ページから続き) ②チャイム放送のしかた

2. 自動放送プログラムの登録	
<p>出力設定切替 タイマ ▲ </p> <p>パルス ▼ </p> <p>1 2 出力</p> <p>放送時刻の設定後1、2スイッチを動かすとスイッチに対応した設定内容が消えてしまいますのでご注意ください。</p>	<p>1. タイムスイッチ部の下部にあるフタを開けて出力設定切替スイッチ1、2とも「パルス」にしてください。 製品出荷時は図のように設定しています。</p>
<p>出力 [入] [切] </p> <p>入 自動 切 出力1</p>	<p>2. タイムスイッチ部の出力 [入] [切] スイッチの出力1を「自動」にしてください。</p>
<p>モード切替 </p> <p>回路1 回路2 運転</p>	<p>3. タイムスイッチ部のモード切替スイッチを「回路1」にしてください。</p>
<p>4.   → → </p> <p>5.  </p> <p>6. </p> <p>7. </p> <p>8. </p> <p>9. </p>	<p>4. [曜日]キーを押してチャイムを鳴らしたい曜日に全て「—」マークを表示させてください。(これで毎日、月～土曜日などの指定ができます。)</p> <p>5. [時]、[分/パルス幅]キーを押してチャイム演奏開始時刻を表示させてください。(※1)左図は月～金曜日のAM8:00にチャイムを鳴らす設定です。</p> <p>※1：[時]、[分]キーを押し続けると早送りになります。 [休日/≡]キーを押すと直前に押した値がダウンします。</p> <p>6. [セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。</p> <p>7. [分/パルス幅]キーを押してチャイム演奏時間の[30S]を表示させます。(※1)</p> <p>8. [セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。</p> <p>9. 4～8の手順をくり返し全てのプログラムを登録してください。登録が終了しましたら、[モード切替]スイッチを「運転」にしてください。現在時刻が表示されたら登録は終了です。</p> <p>[パルス幅]は演奏時間、[m]、[s]はそれぞれ、分、秒を表します。各キーやスイッチの位置は、P6、タイムスイッチ部の名称を参照してください。</p>



③ラジオ体操放送のしかた

1. 曲目の選択、調整及び確認																																									
<p>ラジオ体操切替スイッチ</p> 	<p>1. 曲目切替スイッチを操作して下記のどちらかの曲を選んでください。</p> <p>①ラジオ体操第一 ②ラジオ体操第一&ラジオ体操第二</p> <p>工場出荷時は①ラジオ体操第一になっています。</p>																																								
<p>出力 [入] [切]</p> 	<p>2. 出力 [入] [切] スイッチの出力2を [入] にしてください。ラジオ体操起動表示用LEDが橙色に点灯し、直後に動作状態表示用LEDが赤色に点灯し放送状態になります。</p>																																								
<p>ご注意</p> <p>ボリュームを強い力で回すと壊れることがあります。ドライバで軽く回すようにしてください。(最大回転角度210°)</p> 	<p>3. 音量は音量調節ボリュームで調節してください。</p> <p>4. 音質は音質調節ボリュームで調節してください。</p> <p>※音量調節、音質調節はチャイム、ラジオ体操共通になっていますので個別に調節は出来ません。</p> <p>出荷時はツマミの回転位置をほぼ中央に合わせてあります。</p>																																								
2. 自動放送プログラムの登録																																									
<p>出力設定切替</p> <p>タイマ ▲</p> <p>パルス ▼</p> <p>1 2</p> <p>出力</p> <p>放送時刻の設定後1、2スイッチを動かすとスイッチに対応した設定内容が消えてしまいますのでご注意ください。</p>	<p>1. タイムスイッチ部の下部にあるフタを開けて出力設定切替スイッチ1、2とも [パルス] にしてください。</p> <p>製品出荷時は図のように設定しています。</p>																																								
<p>出力 [入] [切]</p> 	<p>2. タイムスイッチ部の出力 [入] [切] スイッチの出力2を [自動] にしてください。</p>																																								
<table border="1" data-bbox="132 1230 542 1433"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">記入例</th> <th colspan="2">月</th> <th colspan="2">火</th> </tr> <tr> <th>出力</th> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放送</td> <td></td> <td>チャイム パルス 25秒</td> <td>ラジオ 体操</td> <td>チャイム パルス 25秒</td> <td>ラジオ 体操</td> <td>チャイム パルス 25秒</td> <td>ラジオ 体操</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>M</td> <td></td> <td>8:20</td> <td>8:25 (4分)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			記入例		月		火		出力		1	2	1	2	1	2	放送		チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	A								M		8:20	8:25 (4分)					<p>3. 放送時間記録用紙の出力2(ラジオ体操)の枠に放送したい時刻と演奏時間を記入してください。</p> <p>例 (放送時間) (演奏時間) 1 AM8:25~ 4分間…分の設定</p> <p>(15ページの放送時間記録用紙の記入例を参照)</p>
		記入例		月		火																																			
出力		1	2	1	2	1	2																																		
放送		チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操	チャイム パルス 25秒	ラジオ 体操																																		
A																																									
M		8:20	8:25 (4分)																																						



(10ページから続き) ③ラジオ体操放送のしかた

<p>モード切替</p> 	<p>4. タイムスイッチ部のモード切替スイッチを「回路2」にしてください。</p>
<p>5. 日 月 火 水 木 金 土</p>  <p>6. 時 分</p>  <p>7. セット</p>  <p>8. 分</p>  <p>9. セット</p>  <p>10.</p>	<p>分の設定</p> <p>5. [曜日]キーを押してラジオ体操を放送する曜日に全て「マーク」を表示させてください。(これで毎日、月～土曜日等の指定ができます。)</p> <p>6. [時]、[分/パルス幅]キーを押して、ラジオ体操開始時刻を表示させて下さい。 (※1) 左図は月～金曜日のAM8:00にラジオ体操第一を放送する設定です。 ※1：[時]、[分]キーを押し続けると早送りになります。 [休日/≒]キーを押すと直前に押しした値がダウンします。</p> <p>7. [セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。</p> <p>8. [分/パルス幅]キーを押してラジオ体操放送時間の[4min]を表示させます。 (※1) (※2)</p> <p>※2：ラジオ体操第一&ラジオ体操第二を放送される場合は放送時間を[7min]にしてください。</p> <p>9. [セット]キーを押してください。画面の表示時間が切り替わって点滅します。</p>
<p>モード切替</p> 	<p>10. 5～9の手順をくり返してすべてのプログラムを登録してください。登録が終了しましたら、[モード切替]スイッチを「運転」にしてください。現在時刻が表示されたら登録は終了です。</p>

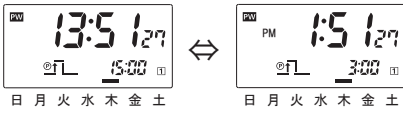

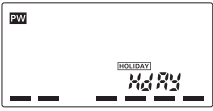


④プログラムの確認及び修正のしかた

<p>1. 任意の曜日のプログラムの確認</p> 	<p>[モード切替]を[運転]にしてください。 確認したい曜日の[曜日]キーを2秒以上押ししてください。[cheec]が点滅し、プログラムが表示されます。[セット]キーを押すと次のプログラムが表示されずすべての登録内容が表示されたら現在時刻の表示に戻ります。</p>
<p>2. 登録したプログラムの内容の確認及び修正</p> 	<p>[モード切替]スイッチをチャイムの場合は[回路1]に、ラジオ体操の場合は[回路2]に切替えます。 [セット]キーを押すと登録内容が表示されます。押す度に登録内容が[時刻]、[演奏時間]の順で表示されます。 修正する場合、修正したい個所が表示されている時に[時]、[分/パルス幅]キーにて変更し[セット]キーを押してください。 最後に[モード切替]スイッチを[運転]に戻します。</p>

⑤プログラムの消去のしかた

<p>1. 登録したプログラムを部分的に消去する</p> 	<p>[モード切替]スイッチを[回路1]または[回路2]に切替え、消去したいプログラムを表示します。 [+1h/消去]キーを短く押すと左図のように表示されます。 [セット]キーを押すと消去されます。 [CLr]が点滅している時に[+1h/消去]キーを押すと消去がキャンセルされます。</p>
<p>2. 登録したプログラムを回路単位で全て消去する</p> 	<p>[モード切替]スイッチを全て消去したい回路([回路1]または[回路2])に切替えます。 [+1h/消去]キーを3秒以上押すと左図のように表示されます。 [セット]キーを押すと選択した回路の全プログラムが消去されます。 [CLr]が点滅している時に[+1h/消去]キーを押すと消去がキャンセルされます。</p>

⑥その他の使用方法

1. 12/24h表示の切替	
 <p>日月火水木金土</p>	<p>[モード切替]を[運転]にしてください。 [時]キーを2秒押しすごとに[24時間表示]と[AM/PM12時間表示]に切替ります。</p>
2. 現在時刻、曜日を修正する	
 <p>日月火水木金土</p>	<p>[モード切替]を[運転]にしてください。 [時刻合せ]キーを2秒以上押してください。 時計マークが点滅表示されます。[時]、[分/パルス幅]キーで時刻を設定してください。 次に、本日の[曜日]キーを押して設定してください。 最後に[セット]キーを押してください。 押した瞬間から時計がスタートします。</p>
3. 一時的に休日(非動作日)を設定する	
 <p>日月火水木金土</p> <p>点灯(プログラム動作) ⇔ 消灯(休日)</p>	<p>[モード切替]を[運転]にしてください。 [休日/≡]キーを2秒以上押してください。 左図のように表示が切替るので休日にしたい曜日の[曜日]キーを押して消灯してください。 最後に[セット]キーを押して設定完了です。</p> <p>休日は本日より6日後まで設定できます。対象の休日を過ぎると設定は自動で消えます。</p>
4. チャイムのテスト放送のしかた	
<p>出力[入] [切]</p> 	<p>出力[入]、[切]スイッチの出力1を[入]にしてください。チャイム起動LEDが橙色に点灯、直後に動作状態表示用LEDが赤色に点灯し、繰り返し鳴動します。</p>
5. ラジオ体操のテスト放送のしかた	
<p>出力[入] [切]</p> 	<p>出力[入]、[切]スイッチの出力2を[入]にしてください。ラジオ体操起動LEDが橙色に点灯、直後に動作状態表示用LEDが赤色に点灯し、繰り返し演奏されます。</p>

※タイムスイッチの詳細につきましては、「H5Sデジタル・ウィークリータイムスイッチ取扱説明書」を参照ください。

■故障かな？

機器の調子がおかしい時、案外簡単なことが原因になっている場合が多いものです。修理を依頼される前に次の点検項目をチェックしてください。

症 状	点 検 項 目	処 置
電源表示LED (緑)点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください
チャイム、ラジオ 体操が鳴らない	タイマの出力「入」「切」スイッチが「切」になっていませんか	「入」にしてから鳴るかどうか確認してください
	タイマの出力「入」「切」スイッチが「入」になったままになっていませんか	一度、「自動」にしてから再度「入」にして確認してください
	ボリュームが最小になっていませんか	適当な音量に調節してください
	スピーカとの接続は確実ですか	正しく接続してください
	動作状態表示LED赤が点滅していますか	弊社、顧客サービスセンターへご連絡ください フリーダイヤル：0120-014-602
設定した時間 に鳴らない	出力設定切換スイッチが自動になっていますか	自動に切替えてください
	プログラムの設定内容に間違いはありませんか	正しくプログラムを設定してください
	モード切換スイッチが「運転」になっていますか	「運転」に切替えてください
チャイムの演奏 時間がプログラム できない	タイムスイッチの出力設定切替スイッチが「タイム動作」側になっていませんか	「パルス動作」側に切替えてください。 パルス動作に切替える場合、プログラムがすべて消えてしまいますので、切替える前にプログラム内容を確認又は、記録してからパルス動作に切替えて再登録してください
雑音が出る	本体や信号線の近くに強いノイズを出すような器具または、電線がありませんか	本体や信号線と器具または電線を遠ざけてください
	信号線の極性、H(ホット)(+)、C(コールド)(-)を間違えていませんか	H(ホット)(+)、C(コールド)(-)の極性を合わせて配線してください

■主な仕様

定 格 電 圧 AC100V 50/60Hz

定 格 消 費 電 力 3.5W (定格消費電流38mA)

タイムスイッチ部

形 式 H5S-WA2 デジタル・ウィークリータイムスイッチ(オムロン)

分 類 ・ 種 類 水晶発振計数線繰返し式タイマ

プログラムステップ数80(2回路合計) パルス動作は1セット(ON/OFF)で1ステップ必要

※通常ON/OFF動作は1セットで2ステップ、サイクル動作は1セットで4ステップ必要

動 作 内 容 タイマ動作(日を渡るタイマ動作も設定可能)、パルス動作(1~59秒及び1~60分設定可能)、

サイクル動作、休日設定、コピー(振替)機能、プログラムのテスト、プログラムの確認、

半自動出力動作、サマータイム切替、停電復帰時出力、時刻合せ入力機能、

入力積算表示機能、バンク機能、電源OFF時設定

表 示 曜日、時、分、秒(LCDによるデジタル表示)

AM 0:00:00~11:59:59、PM 0:00:00~11:59:59 または 0:00:00~23:59:59

設 定 方 法 用途別キースイッチ方式

最 小 設 定 単 位 1分単位(パルス動作は1秒より)

停 電 保 証 期 間 連続5年以上(25℃) オムロンの工場製造時より通算日数を示し、通電した時間は含まない。

時 間 精 度 ±15秒/月以下(25℃)

外 部 入 力 時刻合せ入力 接点短絡により00分00秒に合せる

無 電 圧 接 点 容 量 DC5V、0.1mA以上必要

出 力 部

信 号 出 力 100mV(-20dBV)、5kΩ

ラ ジ オ 体 操 出 力 2曲のうち1曲選択(手動切換式)

電 子 チ ャ イ ム 6曲のうち1曲選択(手動切換式)

音量調節器及び、音質調節器付

①ラジオ体操第一 ②ラジオ体操第一、ラジオ体操第二

③④⑤ウエストミンスターA~C

⑥⑦⑧ホイッティングトンA~C

⑨テスト信号1kHz⑩無音

その他

出 力 接 点 回路1または回路2を設定時動作

接 点 方 式 無電圧メーク接点

接 点 容 量 DC30V、2A(抵抗負荷)

使 用 温 度 範 囲 -10℃~+50℃

外 形 寸 法 幅180×高さ200×奥行91.5(mm)

質 量 約1.8kg

付 属 品 丸木ネジ 4本

放送時間記録用紙

	記入例		月		火		水		木		金		土		日		
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
出力	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	
放送	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	チャイム (パルス) (30秒)	ラジオ 体操	
A M	8:20	8:25 (4分)															
	8:30																
	8:59																
	9:00																
	10:00																
	10:05																
P M	12:00																
	12:37																
	12:40																
	3:00																
	3:10																
	3:55																
	4:00																
	4:25																
	4:55																
	5:22																
	5:30																
	6:00																
	6:30																
	7:00																
	7:30																
8:00																	

品質保証書 持込み

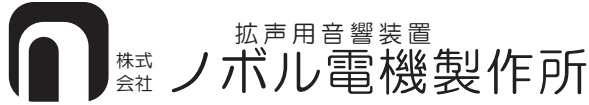
型名	CT-15		★製造番号	
	お買上げから一年間		但し、消耗品を除く（詳しくは下記に記載）	
保証期間	★			
	年 月 日			
お買上げ日	〒 ー		住所・店名・電話番号	
	TEL () ー			
★お客様欄	お名前		様	
			★販売店	

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。製造番号については本体に貼付している規格銘板近くに貼付しています。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管ください。

- <無償修理規定>
- 取扱説明書、本体注意銘板などに従った、正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合、商品と本書をお買上げの販売店にご持参、ご提示の上、修理をご依頼ください。無償にて修理いたします。
 - 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - お買上後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障および損傷。
 - 常識的に正常な動作であるにもかかわらず、修理または、部品交換等の要求をされる場合。
 - 本製品に接続された当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - お客様のご都合による、出張修理を行なった場合の出張費用。
 - 保証書のご提示が無い場合。
 - 保証書にお買上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合。
 - この保証書は日本国内においてのみ、有効です。This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

*本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。
 *この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合、お買上げの販売店または下記の顧客サービスセンターまでお問い合わせください。



顧客サービスセンター	フリーダイヤル（無料電話） TEL0120-014-602 受付時間 9：00～17：00 商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
------------	--

本社・工場 〒576-0051 大阪府交野市倉治3丁目5-10 TEL072-891-4602
 971807 11.09